

市議会だより

No.210

平成30年8月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



福井しあわせ元気大会
バスケットボール競技プレ大会
(6月9日～10日 福井県営体育館)



議会報告会
(4月9日 浜住町生活改善センター)

議会報告会を開催しました

→ 2～4ページに特集記事を掲載

5月
臨時会 (5月15日)

正・副議長などの
各役職を選出しました

詳細は5ページ

市長提出の議案2件、
報告5件を審議しました

主な議案は6ページ

審議結果は14ページ

6月
定例会 (6月4日～26日)

市長提出の議案24件、
報告19件を審議しました

主な議案は6ページ

審議結果は14～15ページ

陳情1件を審議しました

審議結果は15ページ

議員提出議案3件を
審議しました

主な議案は6ページ

審議結果は15ページ

議員20人が一般質問を
行いました

詳細は8～12ページ

議会報告会

4月4日から12日にかけて市内13会場で開催した議会報告会において、皆さんからいただいた市政や議会運営に関するご意見、ご質問等について、その一部を分野別に紹介します。

その他のご意見、ご質問等は福井市議会ホームページでご覧になれます。

開催日	会場	参加人数
4月4日	円山公民館	19人
4月4日	本郷公民館	27人
4月5日	足羽公民館	7人
4月5日	清水北公民館	32人
4月6日	社西公民館	4人
4月6日	酒生公民館	14人
4月9日	浜住町生活改善センター	22人

開催日	会場	参加人数
4月10日	順化公民館	8人
4月10日	清明公民館	6人
4月11日	松本公民館	14人
4月11日	一乗公民館	6人
4月12日	河合公民館	7人
4月12日	殿下公民館	49人

いただいたご意見、ご質問等について

総務委員会関係

会場	内 容
本郷公民館	質問 重要な問題である人口減少対策についての報告がなかったように思うが、福井市の人口減少対策はどうなっているのか。
	回答 本市では「福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定し、人口減少対策の施策に取り組んでいる。今回報告した中では、「地域の魅力発信事業」や「未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト」などが総合戦略の中の施策である。
清水北公民館	質問 国体や足羽山魅力向上事業、東京オリンピック事前キャンプ誘致事業などの施策について、投資に見合った経済効果が得られるのか。
	回答 民間企業のように利潤追求が目的ではない。例えば、国体で来福された方に足羽山などの名所や福井の食を知ってもらうことで、また福井に来ていただけるというような効果もあると考えている。
浜住町生活改善センター	質問 一般会計総額に相当するくらいの市債残高（臨時財政対策債除く）がある。平成18年以前はもっと少なかったが、今後市債残高が平成18年以前のレベルに戻る見込みはあるのか。
	回答 北陸新幹線福井開業に向けた福井駅周辺の事業、森田北東部の土地区画整理事業などがあり、市債残高が増えてきたが、これらの事業は終わりに近づいており、今後市債残高は減っていくと思われる。また、金利の低い借換債への切り替えも行っている。ただし、今後も文化会館の建設などの大きな事業も控えているので、議会としても、市債の動向には注意を払っていく。
順化公民館	質問 特別会計について説明してほしい。
	回答 特別会計には国民健康保険、介護保険などの会計、企業会計にはガス、水道、下水道の各事業会計があり、目的別の会計処理をしている。

松本公民館	<p>質問 除雪対策費の補正予算26億円はどこから調達しているのか。また、平成30年度予算では約4億円しか計上していないが、また今回のような大雪になったらどうするのか。</p>
	<p>回答 今回26億円の補正予算を組んでいるが、金額はまだ確定しておらず、実際はもっとかかる。市の予算は、歳入と歳出を同額にしなければならないため、最初から除雪対策費を50億円計上すると、その分ほかの事業を50億円削減しなければならない。そのため、当初は4億円で予算を組み、不足した場合は補正予算で対応している。補正予算の財源については、今年の場合、国からの特別交付税が見込みより14億円余り多かった。ただし、この増加分には除雪費以外に、国体や北陸新幹線、台風被害による増額分も含まれている。</p>

建設委員会関係

会場	内 容
円山公民館	<p>意見要望 今回の大雪で、公園の雪捨て許可が後になってから下りるなど、その場しのぎの対応となっていた。雪捨て場とする公園や学校を最初から決めて整備しておくなど、長期的な除雪計画を立てるべきではないか。</p>
	<p>現状説明 公園は周囲がフェンスで覆われているところが多く、遊具等もあるため、雪捨ての許可がなかなか出せなかった。今後は雪捨て場として活用できるよう対策を考えていく。今回の大雪を踏まえ、年内に雪害対策の方針を打ち出すと聞いているので、議会においても議論していきたい。</p>
本郷公民館	<p>質問 まちなかの観光スポットは整備されてきているが、観光バスの駐車場がない。整備する必要があるのではないか。</p>
	<p>回答 北陸新幹線福井開業に伴う駐車場の整備については、議会でも何度か取り上げている。市からは、開業までに全体の駐車場の状況を見ながら検討すると聞いている。</p>
	<p>意見要望 金沢市では外国人観光客が増加している。経済的にも北陸3県で取り残されないようにしっかり取り組んでほしい。</p>
足羽公民館	<p>意見要望 下水道使用料の値上げについて、市民目線に立った説明をしてほしい。</p>
	<p>現状説明 下水道使用料については、議会でも議論を重ね様々な意見が出たが、インフラの維持管理に多額の費用がかかることなどから、値上げを承認した。</p>
酒生公民館	<p>意見要望 今年の大雪に対する除雪対応がうまくいっていなかった。最近大雪が無かったため、除雪の技術が相当低下している。来年にはこのようなことがないよう、今年の実験を踏まえ、しっかり対策を立てて除雪に取り組んでほしい。</p>
	<p>現状説明 今後は地域の方の意見を聞きながら、また、業者とも連携しながら、行政とともに除雪対策に取り組んでいきたい。</p>
河合公民館	<p>質問 河合地区の八ヶ川について、30年前から改修の計画はあったが、遅々として進んでいない。水田によく水がつくこともあった。改修状況はどうなっているのか。また、川西国道線の整備については話が進んでいるのか。</p>
	<p>調査結果 八ヶ川は県管理の一級河川であり、県が改修を行っている。これまでに九頭竜川合流点から北川合流点までを整備し、現在は住宅地が多い八ヶ川支川北川の改修を進めている。北川の改修後に、再度八ヶ川の整備を行うと聞いている。 川西国道線については、平成27年度から川合鷲塚町地係から天池町地係（つくしの病院付近から主要地方道福井金津線（通称嶺北縦貫線））の区間を事業化して整備に着手している。現在、用地買収等を行いながら道路を改良している。</p>

教育民生委員会関係

会場	内 容
円山公民館	<p>質問 教職員のノー残業デーの実施率はどのくらいか。</p> <p>調査結果 教職員のノー残業デーについては、昨年10月の二学期からスタートし、毎週水曜日に18時全員退勤を管理職が呼びかけている。18時以降に残業する場合は報告するようにしているが、その数は平均して全教職員の1%程度である。</p>
松本公民館	<p>質問 保健センターの環境整備について、できるだけ早く、広いキッズスペースの設置をお願いしたい。いつ頃までに整備されるのか。</p> <p>調査結果 妊婦や母子が安心して相談しやすい環境を整備するため、平成30年度中に保健センターの改修工事を行う予定である。母子専用のカウンターを設置し、プライバシーに配慮した利用しやすい環境を整えるとともに、キッズコーナーや授乳室を設置する。</p>
一乗公民館	<p>意見要望 一乗公民館の移転について、前倒しで行ってほしい。</p>
殿下公民館	<p>意見要望 殿下地区の防災有線放送がなくなるという話があるが、地区の一斉放送は存続してほしい。</p> <p>調査結果 自治体等が設置している有線放送については、各地区にて維持管理をお願いしたい。災害や避難等の情報は、防災行政無線や防災気象情報メール、インターネット、テレビ、ラジオ等の多様な方法により発信していく。</p>

経済企業委員会関係

会場	内 容
本郷公民館	<p>質問 鳥獣害対策について、市はどのように考えているのか。</p> <p>回答 一部の地域では、国庫補助を利用した柵が整備されているところもあるが、地区全体の整備を行うのは難しい。市としても、電気柵やネット柵に対する補助を行うなど、鳥獣害対策の予算を計上している。</p>
社西公民館	<p>質問 平成32年に都市ガス事業が民間に移譲されるが、料金が高くなることはないのか。また、民間は行政ほど安定していないのではないかと心配がある。</p> <p>回答 事業譲渡にあたっては、委員会を設置し、料金水準の維持などを条件とすることを検討している。</p>
浜住町生活改善センター	<p>意見要望 土地改良した場所に家を建てる場合、農地転用の許可がなかなか下りない。年に2回くらいしか審査会がないが、申請があればすぐに審査を行い、スムーズに許可が下りるようにしてほしい。許可がなかなか下りないと、若い人が市外に家を建て地域から出て行ってしまい、ゆくゆくは人口減少による学校の統廃合や空き家の問題が起これ、限界集落に近い状態になってしまう。</p> <p>現状説明 議会としても切実な問題と認識しており、理事者に何度も要望している。農家の子どもが実家の近くに新しい家を建てられないということも起こっている。</p>
殿下公民館	<p>意見要望 殿下地区は過疎化が進んでいる。農業をする人は少なくなり、山に入る人もほとんどおらず、荒れ放題となっている。農業、林業の環境整備を進めてほしい。</p>

※皆さんからいただいたご意見、ご質問については、議長を通じて、市の担当所属に申し送りしています。
 ※「調査結果」とは、その場では回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

議会の構成

◆青木 幹雄 議長



青木議長は市議当選4回で、この間、副議長のほか、総務、建設、経済企業、議会運営委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市市ノ瀬町21-18

◆谷本 忠士 副議長



谷本副議長は市議当選3回で、この間、建設、教育、民生委員長のほか、予算、決算特別委員長などを歴任しました。

【住所】

福井市葛蒲谷町38-18-2

(敬称略)

委員会名		委 員 名						◎委員長 ○副委員長	
常 任 委 員 会	総 務	◎藤田 諭 谷本 忠士	○泉 和弥 玉村 正人	見谷 喜代三 後藤 裕幸	野嶋 祐記	下畑 健二			
	建 設	◎八田 一以 中村 綾菜	○瀧波 滋 池上 優徳	皆川 信正 菅生 敬一	青木 幹雄	鈴木 正樹			
	教育民生	◎水島 秀晃 奥島 光晴	○村田 耕一 伊藤 洋一	西村 公子 田中 義乃	吉田 琴一	今村 辰和			
	経済企業	◎福野 大輔 堀江 廣海	○島川 由美子 片矢 修一	加藤 貞信 近藤 實	堀川 秀樹	石丸 浜夫			
議会運営委員会		◎皆川 信正 片矢 修一	○伊藤 洋一 村田 耕一	石丸 浜夫 水島 秀晃	下畑 健二 池上 優徳	泉 和弥 福野 大輔			
特 別 委 員 会	新幹線・ 並行在来線 等対策	◎田中 義乃 後藤 裕幸	○堀川 秀樹 八田 一以	西村 公子 福野 大輔	加藤 貞信	下畑 健二			
		調査事項 ① 並行在来線の運行等 ② 私鉄を含めた鉄道のあり方 ③ 北陸新幹線福井開業に伴う鉄道沿線の観光の振興							
	予 算	◎片矢 修一 石丸 浜夫 中村 綾菜	○池上 優徳 今村 辰和 泉 和弥	加藤 貞信 鈴木 正樹 田中 義乃	皆川 信正 下畑 健二 藤田 諭	堀川 秀樹 奥島 光晴 水島 秀晃			

※特別委員会については、6月定例会において設置又は変更されました。

(敬称略)

議 会 選 出 の 各 役 職 一 覧					
監査委員	玉村 正人	菅生 敬一			
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	青木 幹雄 後藤 裕幸	谷本 忠士	玉村 正人	泉 和弥	
鯖江広域衛生施設組合議会議員	石丸 浜夫	田中 義乃	村田 耕一		
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	青木 幹雄	瀧波 滋	福野 大輔		
土地開発公社理事	青木 幹雄 伊藤 洋一	谷本 忠士	見谷 喜代三	中村 綾菜	
都市計画審議会委員	水島 秀晃	池上 優徳			
民生委員推薦会委員	泉 和弥				
青少年問題協議会委員	奥島 光晴				
少年愛護センター運営委員会委員	皆川 信正	菅生 敬一			
社会教育委員	野嶋 祐記	島川 由美子	片矢 修一		
通学区域審議会委員	西村 公子	下畑 健二	藤田 諭		
学校給食運営委員会委員	吉田 琴一	鈴木 正樹	八田 一以		
福井競輪事業収益向上対策協議会委員	加藤 貞信	堀川 秀樹	今村 辰和	堀江 廣海	

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

5月臨時会

人事案件

○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、玉村正人氏と菅生敬一氏を選任することに同意しました。

6月定例会

平成30年度補正予算

今回の補正予算は、職員給与費の改定等により、一般会計で4億7,818万3,000円、国民健康保険特別会計で4億1,000円、後期高齢者医療特別会計で1億5,278,000円、介護保険特別会計で5,277万7,000円、競輪特別会計で2億5,990,000円、簡易水道特別会計で1億1,878,000円、宅地造成特別会計で1億9,370円、中央卸売市場特別会計で3億2,200万円、集落排水特別会

計で62万4,000円、地域生活排水特別会計で42万円、福井駅周辺整備特別会計で33万1,000円を減額するものです。また、企業会計では、下水道事業会計で1,757万6,000円、ガス事業会計で4,43万3,000円、水道事業会計で1,520万8,000円を減額するものです。

補正後の予算額は、一般会計で1,053億2,051万3,000円、特別会計で710億2,447万2,000円、企業会計で29億5,307万8,000円、全会計で2,058億7,576万8,000円となります。

条例

○福井市文化会館駐車場条例の制定について

福井市文化会館を利用する方、その他市民の利便に資するため、新たに駐車場を設置するものです。

○福井市清水きららの森の設置及び管理に関する条例の制定について

市民に自然とのふれあいの場を提供することにより、市民の健康増進を図るとともに、森林に関する理解を深めるため、福井市清水きららの森を設置するものです。

○福井市職員の給与の特例に関する条例の制定について

本市の厳しい財政状況を鑑み、平成30年7月1日から平成31年3月31日までの期間、福井市職員の給料その他の給与を減ずる措置を講じるものです。

○福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、個人市民税における非課税限度額及び基礎控除の適用基準の変更、固定資産税及び都市計画税における特例措置の拡充、市たばこ税における税率の引上げ及び加熱式たばこの課税方式の見直し等について、所要の規定の整備を行うものです。

市会案（議員提出議案）

〈条例〉

○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

本市の厳しい財政状況を鑑み、平成30年7月1日から平成31年3月31日までの期間、福井市議会議員の議員報酬を減ずる措置を講じるものです。

〈意見書の提出〉

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書

〈決議〉

○雪害等対策の充実を県に求める決議について

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。（日程順に掲載）

競輪事業対策特別委員会

《平成29年度の総括事項》

問 3月のF1開催における売り上げが好調であったとのことだが、売り上げの内訳として本場分はどのくらいであったのか。

答 3月12日から14日までのF1開催における売り上げは約11億5,000万円であり、そのうち本場分は約3,400万円であった。

意見

売り上げ全体に占める本場分の割合が非常に低いことから、売り上げ向上のためには、単独で場外発売してくれる競輪場をふやすことの重要性を理解してほしい。

《平成30年度の取り組み》

問 3月に開催された日本競輪学校の卒業記念レースにおいて優勝した地元の柳原真緒選手のデビュー時期及び関連イベントの計画は。

答 デビューは7月の他場開催レースで、本場開催レースの出場は10月以降となる予定である。実力を持った有望な女子選手であるため、PRを含めしっかりとバックアップできる体制を整えたいと考えている。

建設委員会

《平成30年度福井市一般会計補正予算 ほか》

意見 今回の大雪の経験を踏まえた除雪体制を継承していくことや、予想外の大雪に対応できる柔軟な除雪体制の構築が必要である。

総務委員会

《福井市職員の給与の特例に関する条例の制定》

問 今回の雪害に対する支援について、国にはどのような要望活動をして、どういった回答があったのか。

答 非常に大変な状況であるということをも市長、副市長が総務省等に直接出向き強く訴えた結果、16億円と、特別交付税としては非常に大

きい支援をいただけたと考えている。

要望 自治体と国との経費負担のバランスと、財政調整基金を使ってもまだ不足しているという状況を考え、しかるべき支援をしてもらえよう今後も要請活動をしてほしい。

問 今後も不慮の災害が起ることを想定し、いろいろな手立てを考えて資金の準備をする必要があるがどう考えるか。

答 今年8月中旬をめどに新たに策定する予定の財政再建計画の中で、基金の有効な活用や繰出金の見直し等も行い、災害等にも柔軟に対応できるように仕組みを整えたい。

《財産の取得について（40メートルはしご付消防車及び15メートルはしご付消防車）》

問 現在配備している消防車の老朽化が進んでいることから更新することだが、何をもって老朽化とみなすのか。

答 はしご付消防車は火災現場で市民の命を守るため

のものであるため、毎年、専門業者に点検を依頼しているが、油圧ホースや電子機器等の年数が経過しており補修が必要という点検結果が出たことと、25年が経過して部品の入手も困難になっていることから、老朽化と判断した。

経済企業委員会

《福井市文化会館駐車場条例の制定》

問 駐車場の整備が当初の予定よりも遅れるというところだが、今年度は駐車場収入は見込めず、整備費用を支出するだけになるのか。

答 市民福祉会館の解体工事が遅れているが、解体後は速やかに駐車場を整備し、今年度の収入を少しでも増やしていきたい。

《福井市清水きらの森の設置及び管理に関する条例の制定》

問 施設内に整備される昆虫の森には、昆虫を集めるためどのような工夫がされているのか。

答 森の整備については、セブニーレブン記念財団と

協定を締結して取り組んでおり、今後、カブトムシやチョウチヨウなどが集まる樹木を植栽し、昆虫観察ができるような森にしていきたい。

《平成30年度福井市ガス事業会計補正予算及び福井市水道事業会計補正予算》

問 職員給与の減額分が一般会計に繰り入れられていないが、財政再建という今回の趣旨に合っているのか。

答 企業局は独立採算制をとっているため、一般会計への繰り出しはできないが、減額分についてはお客様への利便性の向上や施設の維持管理のために活用していく。

教育民生委員会

《福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部改正》

問 放課後児童支援員の資格要件が、5年以上の実務経験があれば中学校卒業者も対象となると拡大されているが、中学校卒業者と高等学校・大学の卒業者で賃金体系に違いはあるのか。

答 資格要件は拡大したが、賃金体系に違いはない。

《地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書提出》

意見 消費者行政は直接市民生活にかかわり、消費者問題が今後も増えていくことが予想される中、国による財政支援は今後も必要である。

《ふくいの地場産学校給食推進事業》

問 福井の地場産食材を使用した学校給食の提供と食育指導の内容は。

答 給食は日ごろから福井の地場産食材を使うことにしているが、今回、年に3回、児童・生徒1人当たり1食150円を増額することで、さらにふくいポークやふくいサーモンなどの特産物を豊富に使用した給食を提供したい。

また、食育指導については給食の献立を教材として生産者からのメッセージを伝え、生産者の苦労、地域の農林水産業の役割、食文化、感謝の気持ちなどを食育として指導したい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、6月11日から13日までの3日間、20人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 堀江 廣海 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市の財政状況と今後の市政運営について 2 消防力について 	<p>② 後藤 裕幸 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 財源不足への対応について 2 第七次福井市総合計画の進捗について 3 「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会に向けての進捗状況について 4 福井国体後におけるスポーツへの意識の定着について 	<p>③ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 財政運営について 2 地域交通政策について 3 男女共同参画の推進について
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中核市移行について 2 福井市の財政再建に向けた基本的な考え方について 3 今後の道路除雪体制について 	<p>⑤ 福野 大輔 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校プール開放事業について 2 本市が発行している印刷物について 3 都市再生緊急整備地域について 4 本市とゆかりのある2020年NHK大河ドラマ主人公の明智光秀について 	<p>⑥ 水島 秀晃 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化会館整備事業について 2 フェニックスプラザ施設整備事業について
<p>⑦ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市の一般会計の財源確保について 2 除雪による被害箇所の補修及び改修状況と今後の除雪対応策について 3 福井市空き家情報バンクについて 	<p>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市の財政問題と職員給与削減について 2 災害対策について 3 学校教育について 	<p>⑨ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 雪への対応について 2 中核市移行について
<p>⑩ 島川 由美子 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療費適正化に向けた糖尿病予防の取り組みについて 2 特定健診受診率向上の取り組みについて 3 高齢者のフレイル予防対策について 	<p>⑪ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 除雪対策と今後の財政運営について 2 障がい者にやさしいまちづくりについて 	<p>⑫ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 財政再建と新たな収入の確保について 2 外見から障がいのあることがわかりにくい方への支援について 3 妊産婦への継続した支援について 4 地域SNS及びアプリの活用について 5 児童館・児童クラブの役割と人材育成について
<p>⑬ 藤田 諭 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少対策について 2 男女共同参画推進の取り組みについて 3 学校プール開放事業の見直しについて 	<p>⑭ 池上 優徳 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市の農業について 2 本市の漁業について 	<p>⑮ 近藤 實 (無所属 (青空の会))</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度決算(赤字)について 2 福井市と金沢市の財政比較について 3 今後の財政再建策について 4 人事・組織・給与について 5 水道事業・下水道事業の料金値上げについて 6 ふるさと納税10億円獲得大作戦について 7 企業立地の積極的推進について 8 市民税・国民健康保険税などの収納額向上について 9 福井市土地開発公社、福井市ふれあい公社などについて
<p>⑯ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国体・障スポ終了後の障がい者スポーツに対する継続的な取り組みについて 2 地域活動支援センターの公募について 3 障がい者就労施設について 4 雇用調整員と一般就労への移行について 5 福井市庁舎別館耐震改修に伴う別館への動線周辺及び駐車場整備について 6 JR福井駅西口広場自家用車乗降場について 	<p>⑰ 八田 一以 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略について 	<p>⑱ 田中 義乃 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職員の働き方改革について 2 福井市施設マネジメント計画について 3 生産性向上特別措置法について
<p>⑲ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 赤字財政と財政再建に向けた取り組みについて 2 北陸新幹線と特急存続問題について 3 障がい者の「65歳問題」とバリアフリーの推進について 	<p>⑳ 瀧波 滋 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 除雪作業の今後の対策について 2 執行停止・事業費縮減となった151事業について 3 財政の改善等について 	

一般質問要旨



ほりえ ひろみ

堀江 廣海 議員

一真会

本市の財政状況と今後の市政運営について

質問

今般の大雪において多額の経費を要したのは、除雪業者がまずは県道から除雪を進め、市道が後回しになったことによつて、本来、除雪だけで済むところが、排雪まで余儀なくされてしまったからではないかと考えるが、市の考えは。

回答

今般の大雪では国道を初めとする主要幹線道路での除排雪が進まず、市民生活に多大な影響を及ぼした。そのため、県から本市の除雪協力企業への派遣依頼があり、さらには、県が直接除雪協力企業に対し作業依頼をするなど、主要幹線道路の除雪作業が優先的に行われた。その結果、市道の除雪作業が遅れ、圧雪が増加したことが、除雪費用が増えた一因と考えている。



ごとう ひろゆき

後藤 裕幸 議員

志政会

福井国体後におけるスポーツへの意識の定着について

質問

中学校等の部活動の重要性をどのように考え、部活動以外のクラブチームの現状をどのように把握しているのか。

また、福井国体終了後も老若男女、市民のスポーツに対する意識を維持し、高揚していくための政策は。

回答

部活動は、体力や技術の向上だけではなく、生涯にわたるスポーツライフの基盤づくりや、豊かな人間性、社会性の育成に大きな役割を果たしており、大変有意義と考える。部活動以外のクラブチームには、全国調査の結果から、生徒の約10%が所属していると認識している。また、スポーツに対する意識の高揚のため、スポーツに親しむ場所や機会を提供しており、今後も市民のニーズに応じた事業を継続していく。



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

男女共同参画の推進について

質問

社会全体で男女共同参画を推進するためにも行政の各審議会や委員会等で女性の登用が必要である。現状と女性の登用推進に向けた取り組みは。

回答

福井市第5次男女共同参画基本計画では、本市の審議会、委員会等における女性の登用率について40%以上にすることを目標に掲げているが、今年3月末で33%となっている。今年度からの強化策として、男女共同参画推進本部において全庁的に女性の登用を進めるよう、さらに働きかけを行う。また、委員の改選前に、女性の登用が進まない原因を十分に把握した上で、今後の登用率向上についての事前協議を行い、目標の達成を目指す。



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

学校規模適正化について

質問

学校規模適正化については、本市ではまだ担当部内で検討を行っているが、全国的には多くの自治体で学校の統廃合が進められている。早期に検討組織を立ち上げて、学校規模適正化に向けた具体的な行動を取るべきだが、見解は。

回答

昨年度までの総合教育会議における学校規模適正化についての議論を踏まえ、本年度は学識経験者やPTA連合会、自治会連合会等からの委員で構成する検討委員会を立ち上げて、具体的な検討を始めることとなった。8月に第1回の会議を行う予定である。学校規模適正化は、在学している児童生徒の家庭のみならず、地域の方にとっても大きな関心事であり、様々な意見がある中、子どもにとっての最適な環境の検討を慎重に進めていく。



ふくの だいすけ

福野 大輔 議員

一真会

本市が発行している印刷物について

質問

本年度の財政状況が苦しい折、各種事業見直しが行われているが、本市の各担当課が制作している印刷物の発行に際しても重要度、優先度を考え、市政広報に一本化するなど事業見直しを進めるべきと考えるが、市の考えは。

回答

本市では市政に関する様々な情報を、広報紙をはじめ、テレビ、ラジオ、ホームページ、フェイスブックなど、多様な広報媒体を活用して発信しており、市民の方々の手元に直接届けた重要な情報については、印刷物として配布している。今後は、広報紙への一本化や様々な広報媒体の有効な活用など、今年度中に情報発信のあり方についての見直しを進めていく。



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
志政会

文化会館整備事業について

質問

新文化会館の建設にあたり、福井市に見合った予算額はどれくらいか。

また、社会的包摂機能を備えた施設を実現するための具体的方策とそこで働く館長にはどのような人物を考えているか。

回答

予算額については、今後の財政健全化の状況を見極めながら、整備手法や財源確保の方策と合わせて、適正な事業費について検討していく。

また、施設を管理・運営する事業者が高齢者や障がい者なども参加できる自主事業を開催し、文化活動を通して交流を図ることによって、社会参加のきっかけが得られる社会的包摂の機能を備えた施設にしていく。館長には、豊かな経験と専門知識に加え、特に信念や牽引力を持った人材の配置が重要であると考えている。



よしだ きんいち
吉田 琴一 議員
市民クラブ

除雪による公園の破損箇所の補修及び改修状況について

質問

除雪による公園の破損箇所の補修状況は。

また、雪置き場としての公園の段差解消やフェンスの構造改修をどのように計画しているのか。

回答

公園施設の破損内容として、樹木の枝折れやフェンスの破損、広場の土砂の掘り起こしなどを確認している。安全上緊急性の高い箇所は6月末までに補修を行い、材料の調達に時間を要する箇所については、7月末までの完了を目指している。

また、入口やフェンスが破損し、修繕が必要な場所は大雪時の雪置き場として利用可能とするため、入口の段差解消及び拡幅や脱着式の車止めへの変更など、地元住民や除雪協力企業と協議し、改善していく。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党議員団

財政再建は新幹線中心から市民の暮らし中心でこそ

質問

福井市が進めてきた新幹線からむ区画整理事業の総額は1,185億円を超え、市の借金返済の負担割合は類似団体平均の倍以上となっている。市長の進めてきた新幹線中心のまちづくりが市の財政の重荷となっている。新幹線関連の事業こそ削減すべきでは。

回答

北陸新幹線福井開業に関連した事業については、地域の活力や賑わいを創出するため、極めて重要な事業であり、着実に推進していく必要があると考えている。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
志政会

中核市移行について

質問

来年に中核市移行するというタイミングで平成29年度が赤字決算の見込みとなった。移行について様々な慎重意見がある中、中核市移行をどのように進めるのか。

また、関連する連携中核都市圏構想にはどのように取り組むのか。

回答

この6月定例会で今後の財政運営及び財政再建について議論し、中核市移行を含む財政見通しを立てた上で改めて県の同意を得たい。

また、連携中核都市圏構想について本市は、圏域全体の発展と繁栄を目指し、圏域住民の明るい未来のため、圏域の中心都市として、来年4月の中核市移行と同時期の連携中核都市圏形成に全力で取り組む。



しまかわ ゆみこ
島川 由美子 議員
公明党

医療費適正化に向けた糖尿病重症化予防の取り組みについて

質問

糖尿病は幅広い世代で発症し、放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、透析が必要になる。生活の質が低下することのみならず、透析医療費は年間約500万円と非常に高額であり、糖尿病から透析に重症化させない取り組みが必要と考えるがどうか。

回答

糖尿病の未治療者に対して市の保健師などが家庭を訪問して受診勧奨及び食事や運動、生活習慣改善の指導を行うなどしている。不在の場合の再訪問や電話による勧奨は今後も徹底して行う。

また、今年度は新たに、医療関係者等で構成する糖尿病重症化予防対策協議会を設置し、効果的な重症化予防の取り組みを推進する。

除雪対策と今後の財政運営について



かたや しゅういち
片矢 修一 議員
市民クラブ

質問

昨年度の除雪対策費49億5,000万円の内訳は。また、除雪業者への委託料の単価は適正だったのか。ほかの自治体と比べてどうだったのか。

回答

除雪対策費の内訳は、除雪車両とダンプトラックを出動させるための委託料として約42億2,000万円、除雪車両を確保するためのリース料が約1億2,000万円、ガードレールや除雪機械の修繕料として約3億3,000万円、自治会などへの協力金として約1億4,000万円、その他の費用が約1億4,000万円となっている。

委託料の単価については、県が算定している単価を参考に算出していることから県と同等であり、県内の他自治体についても本市と同等と聞いている。

ヘルプマークの認知度アップを図るべき



なかむら あやな
中村 綾菜 議員
市民クラブ

質問

外見から障がいのあることがわかりにくい方が支援を受けやすくなるため、ヘルプマークの認知度アップを図るべきと考えるが、どのようなことに取り組んでいるのか。

回答

これまでホームページや市政広報に掲載し、ヘルプマークの認知度アップに努めている。今後は公共交通機関や大型ショッピングセンター等へ掲示するポスターやリーフレットの作成も検討していく。

また、今年度作成する障がい者用防災スカーフにはヘルプマークをつけ、平常時から使用できるものとなるように考えている。ヘルプマークのさらなる活用については、県の動向や他自治体の事例を踏まえながら研究していく。

人口減少対策について



ふじた さとし
藤田 諭 議員
志政会

質問

福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略では、具体的施策を掲げ、数値目標も設定しているが、中間年度進捗も含めた達成状況はどのようになっているのか。

回答

中間年度となる平成29年度末での達成状況は、企業立地数や新事業の創出件数など31項目について目標水準を上回っており、概ね順調に進捗している。また、基本目標2「福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる」では転入・転出者数を均衡させることを目標にしているが、平成29年は35年ぶりに転入超過に転じている。

このほかの数値目標についても、関連施策を着実に推し進め、最終年度までの目標達成とさらなる上積みを目指して取り組んでいく。

本市の農業について



いけがみ まさのり
池上 優徳 議員
一真会

質問

国は園芸を推奨し高付加価値化を図るなど、農業を成長産業として位置づけている。

稲作が多い本市の農業は、高齢化が進み、人材という観点では大きな転換期を迎えているが、どのように園芸を推進していくのか。

回答

本市では、園芸用の施設整備や機械購入への支援、生産推奨品目の種苗費に対する補助などを行い、稲作農家が園芸に取り組みやすい環境を整備している。

また、三里浜砂丘地では官民協働の協議会を軸に、園芸産地の再生に向けた様々な取り組みを進めている。さらには、園芸作物のブランド化などの取り組みも一体的に行うことにより、園芸の振興を強力に進め、農業所得の向上に努めていく。

水道料金、下水道使用料の値上げ(20%)延期を



こんどう みのる
近藤 寛 議員
無所属(青空の会)

質問

水道事業は平成29年度決算の経常利益が5億1,900万円、埋蔵金は14億円ある。

下水道事業は平成29年度決算の経常利益が8億3,800万円あり2年連続で過去最高益を記録した。埋蔵金は3億円ある。英断をもって料金値上げを2年間延期していただきたい。

回答

水道事業は多くの施設が更新時期を迎え、老朽した施設の更新や耐震化により多額の財源が必要となる。

下水道事業は資本的収支の半分を占める企業債の返済額が増加するため将来的に厳しい経営状況であることに変わりはない。

料金改定の時期を遅らせるほど改定率が高くなるため早期に改定することが望ましい。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

市庁舎別館耐震工事に伴う別館への動線周辺について

質問

平成27年度6月議会において庁舎本館と別館の間の車両の混雑解消を求め、配置見直しを検討するとの答弁があった。しかし、改善が成されたとは思えない。障がい福祉課へ導く誘導点字ブロックについては、危険極まりない仕上げとなっており至急改善を求める。手すりの代わりにカラーコーンを使うのは問題である。

回答

別館耐震改修工事期間は、中庭での職員の駐停車を原則禁止し、配達業者と報道機関へは、大手駐車場の利用を促す等の調整を行った。点字ブロックについては、関係部局や障がい者関係団体と協議し、早急に対応したい。手すりの代わりにカラーコーンはアーチ固定式のプランター等を設置し、警士による声掛け等も行い安全対策に努める。



はった いちいち
八田 一以 議員
一真会

福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の開発について

質問

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンは今期策定する予定になっているが、骨子案を読む限り成果に期待が持てない。域内の経済成長が最も重要だが、肝心要の企業誘致に取り組む意欲に欠ける。福井北ジャンクション・インターチェンジ周辺の開発を具体的な取り組みの柱として入れてはどうか。

回答

福井北ジャンクション・インターチェンジは企業の立地意向が高い地域だが、大半が農用地で産業用地として活用できないため、国に対し土地利用の規制緩和を求める国家戦略特区の提案を行った。農林水産省から地域の農業振興の方向性との調和を図り地域未来投資促進法を活用することで農用地区域の除外等が可能であるとの考えが示されたため、今後は企業立地を推進したい。



たなか よしのり
田中 義乃 議員
一真会

市職員の働き方改革について

質問

市職員のワークライフバランスを考慮した働き方には、本人の意識改革とともに環境整備が重要であるが、業務量の適正管理や上司のマネジメント能力向上など、本市の働き方改革の取り組みは。

回答

ノー残業デー、朝型勤務の導入等により、職員の意識改革を進めてきた。また、時間外の縮減を図るため、係長が職員の業務量や時間外勤務の状況を把握し、係内、係間の応援体制や業務配分を調整する係長制度を本年度導入した。職場の課題に対して具体的な改善策を考える業務改善研修、事業のスクラップの必要性と手法を学ぶ所属長研修を実施。本研修で得た成果を実際の業務に反映させ生産性の向上を図っていく。



にしむら きみこ
西村 公子 議員
日本共産党議員団

赤字財政の市長責任・反省とプール開放事業等の削減撤回

質問

市長が就任して10年間で普通会計の借金が300億円増加した。新幹線整備事業など不要不急の大型事業を進めてきた市長の責任と反省は。また、学校プール開放事業や敬老祝金進呈事業の削減は撤回すべきだが考えは。削減すべきは新幹線建設や関連事業だが考えは。

回答

市債残高が増加した要因は、市民の安全・安心や、賑わいのある県都となるよう必要な事業を実施した結果であると考えている。中止・縮減事業はできる限り市民生活の影響が少ないものを洗い出したもので、財源が確保されない中での撤回は難しいと考えている。北陸新幹線は福井開業の平成34年度末に遅れることのないよう事業を進め、今後コスト削減等に努める。※学校プール開放事業及び敬老祝金進呈事業の削減は、見直されることになりました。



たきなみ しげる
瀧波 滋 議員
志政会

除雪作業の今後の対策について

質問

平成29年度の除排雪費が、総額47億5,000万円となった。事業の中止・縮減や、助成金・補助金の減額・停止等、市民に迷惑をかけることとなった上、協力を求めることにもなった。今後の除雪への対策や計画は。

回答

アンケート調査により協力企業数を取りまとめ、新たに協力いただける企業に聞き取り調査を実施するなど、除雪協力企業の拡大を図る。また、自治会等及び協力企業との意見交換会などにより、企業間の協力体制の構築を進めるほか、早期の除雪作業完了を目指すため、排雪のためのダンプトラックの確保、大雪に対する除雪体制の構築について検討を行い、9月をめどに計画案を作成する。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

皆川 信正 今村 辰和
奥島 光晴 泉 和弥
田中 義乃 池上 優徳

○今後の市政運営

問 議会としても予算の削減を検討していくので、市民から要望が多い学校プール開放事業と敬老祝金進呈事業を復活させることはできないか。

答 各種事業の中止・縮減を実施することは苦渋の決断であったが、これまでも多くの意見をいただいていることから、学校プール開放事業については、市が管理監視員を直接雇用し実施していく。また、敬老祝金進呈事業については、100歳の方々へのお祝い金は1万円とするが、88歳の方々へのお祝い品については復活できるように努めていく。

○本市の財政難に対する市民の善意を形にすること

問 少しでも本市の財政を支援したいという市民の善意の寄付については、申し出に対して市はどのような考えを持っているのか。

答 善意の寄付については、申し出があれば丁寧に対応したい。今回、財政の見直しを手がける中で、市民みずから何かできることがないかと考えていただけることは非常にありがたいと感じており、このような市民一人ひとりの気持ちだが、今日の不死鳥のまち福井を築きあげてきたと認識している。これからも、市民の思いをしっかりと受け止め協力し合いながら、ふるさと福井を盛り上げていきたい。

※なお、本市への各種寄付金を受け入れる窓口が、市役所本館3階まち未来創造室に開設されました。

志政会

加藤 貞信 石丸 浜夫
藤田 諭 水島 秀晃

○福井地震から70年事業の取り組み

問 6月18日に大阪府北部で発生した地震によって、

通学中の小学生がプールのブロック塀の下敷きとなり亡くなった事故を踏まえ、今後、学校の危険箇所点検などを行う予定はあるのか。

答 今回の事故の発生を受けて、ブロック塀のある3つの小学校について、ブロック塀に傾きやひび割れがないか、目視による緊急点検を行った。また、近日常に文部科学省から発出される緊急点検についての文書の内容を確認した上で、学校施設全体の点検を行い、危険箇所については改修する予定である。

市民クラブ

堀川 秀樹 中村 綾菜
片矢 修一

○JR福井駅周辺の大規模再開発

問 三角地帯の再開発準備組合が分裂し、福井駅周辺の一体開発が困難になったとの報道があったが、このような事実はないことから、市は地権者の一人として、北陸新幹線福井開業までには必ず間に合わせてみせるという強い意思を示すべきであると思うが、どのように考えているのか。

答 この再開発は5年後の北陸新幹線福井開業を見据えた民間主体のまちづくりであり、国の都市再生緊急整備地域の指定に向けて取り組んでいるところである。本市としても事業化に向けてしっかりと支援するとともに、地権者の一人としても積極的に取り組んでいく。

要望 三角地帯にある響のホールについては、若い人の利用も非常に多いため、再開発の中にその機能を残してほしい。

答 三角地帯にある響のホールについては、若い人の利用も非常に多いため、再開発の中にその機能を残してほしい。

公明党

下畑 健一

○職員の働き方改革の推進

問 時間外勤務手当の縮減に伴って捻出した財源を人員費に充てれば、今後急激に職員数を削減しなくても済むのではないかと。

答 時間外勤務は、突発的な業務が発生した場合等、臨時的・一時的に繁忙となる場合の対応として、やむを得ず実施するもので、時間外勤務の縮減を常時配置する職員数に置き換えることについては、慎重に考える必要がある。

しかし、限られた職員数を有効に活用する観点から、部局内で職員の応援体制を執るなど、時間外勤務を減らすための柔軟な対応は必要である。

日本共産党議員団

鈴木 正樹

○財政再建計画と職員給与削減

問 市は財政再建計画において市民生活に必要な事業を除いて新規着工を抑制するとしているが、北陸新幹線福井駅舎の増築工事を、市が主体となつて15億6,000万円もかけて行うとしている。市民に必要な事業とは思えず削減すべきと考えるがどうか。

答 福井駅は市民・県民だけでなく、県外からのお客様も利用されることから、手狭な福井駅舎に拡張施設として観光案内所、改札外のトイレ、休憩スペースのおもてなしの機能を整備するものであり、利用者の利便性向上に大きく寄与することから必要であると考えている。また、事業費は現在行っている実施設計の中で縮減を図る。

(5月臨時会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第48号議案	監査委員の選任について	5月15日	同意	
第49号議案	監査委員の選任について	〃	〃	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	〃	承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	〃	〃	●
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	●
第4号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度福井市競輪特別会計補正予算)	〃	〃	
第5号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	

(6月定例会)		議案等の審議結果		
議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第50号議案	平成30年度福井市一般会計補正予算	6月26日	原案可決	
第51号議案	福井市文化会館駐車場条例の制定について	〃	〃	
第52号議案	福井市清水きららの森の設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃	
第53号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	〃	〃	
第54号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃	
第55号議案	福井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	
第56号議案	財産の取得について(40メートルはしご付消防車)	〃	〃	●
第57号議案	財産の取得について(15メートルはしご付消防車)	〃	〃	●
第58号議案	平成30年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第59号議案	平成30年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃	●
第60号議案	平成30年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃	●
第61号議案	平成30年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃	●
第62号議案	平成30年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃	●
第63号議案	平成30年度福井市簡易水道特別会計補正予算	〃	〃	●
第64号議案	平成30年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃	●
第65号議案	平成30年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	〃	〃	●
第66号議案	平成30年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃	〃	●
第67号議案	平成30年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	〃	〃	●
第68号議案	平成30年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算	〃	〃	●
第69号議案	平成30年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃	●
第70号議案	平成30年度福井市ガス事業会計補正予算	〃	〃	●
第71号議案	平成30年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃	●
第72号議案	福井市職員の給与の特例に関する条例の制定について	〃	〃	●
第73号議案	平成30年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	
第6号報告	平成29年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月4日	受理	
第7号報告	平成29年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第8号報告	平成29年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	〃	〃	
第9号報告	平成29年度福井市競輪特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第10号報告	平成29年度福井市宅地造成特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第11号報告	平成29年度福井市宅地造成特別会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	〃	〃	
第12号報告	平成29年度福井市福井駅周辺整備特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第13号報告	平成29年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第14号報告	平成29年度福井市ガス事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第15号報告	平成29年度福井市水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第16号報告	平成29年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃	
第17号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度福井市一般会計補正予算)	6月26日	承認	●

議会日誌 (平成30年4～6月)

4月23日	競輪事業対策特別委員会
	北信越市議会議長会評議員会 (富山市)
26日	北信越市議会議長会第93回定期総会 (富山市)
	総務委員会、教育民生委員会
27日	建設委員会、経済企業委員会
5月2日	議会運営委員会
10日	議会運営委員会
22日	北陸新幹線建設促進大会・同盟会総会 (東京都)
28日	議員全員協議会、議会運営委員会
29日	全国市議会議長会第211回理事会 (東京都)
30日	全国市議会議長会第94回定期総会 (東京都)
6月1日	全国競輪主催地議会議長会正副会長・監事・相談役会議、役員会 (東京都)
	全国競輪主催地議会議長会第122回定期総会 (東京都)

5月臨時会

5月15日 議会運営委員会、議員全員協議会、本会議

6月定例会

6月4日	本会議
5日	議会運営委員会
11日	本会議 (一般質問)
12日	本会議 (一般質問)
13日	本会議 (一般質問)、議会運営委員会
14日	総務委員会、建設委員会
15日	教育民生委員会、経済企業委員会
20日	予算特別委員会
21日	予算特別委員会
22日	議会運営委員会
26日	本会議、新幹線・並行在来線等対策特別委員会

編集後記

福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会の開催まで、いよいよ50日となりました。国体への機運を盛り上げましょう。また、平成30年度の議会報告会が開催され、本紙で特集を組みましたがいかがでしたでしょうか。次回開催時には、ぜひ会場へ足をお運びください。

(八田・福野)

福井市議会だより編集委員

委員長 福野 大輔 委員 堀川 秀樹、鈴木 正樹
副委員長 水島 秀晃 中村 綾菜、八田 一以
瀧波 滋、菅生 敬一

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

中継する会議

インターネット
中継を実施
しています

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会



福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、

YouTube (ユーチューブ) のインターネットストリーミングサービスを利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

傍聴して
みませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算、新幹線・並行在来線等対策

議員全員協議会

次回は
9月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506